

(様式3)

事業所名 グループホーム ふれあいの家

作成日: 令和 5年 10月 11日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題		目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	現在のモニタリング等の記録の書式、やり方を変え、より効率的に仕事が出来よう、繋げていきたい。	モニタリング、ケース記録等の書式を新たに考え、より効果的に、効率よく仕事が出来よう、また職員の負担軽減に繋がるように検討する。	全施設で書式が統一されているため、それぞれの施設の介護計画作成担当者と検討し、新たな書式とやり方を変更していく。	6～10ヶ月
2	13	今年の夏の大雨時に、実際に避難を経験したが、いざという時に慌ててしまった。いつ災害が起きても速やかに行動へ移せるようにしていきたい。	火災、水害、地震等の災害に、常に対応できるように、必要な備蓄を確保し、いざという時に迅速に対応できるようにする。	避難場所を確保できるように、小・中学校等の近隣施設への協力を日ごろから要請していく。また、定期的な備蓄の点検。様々な災害に対応できるように定期的に訓練を行い、マニュアルを作成する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。